



TECHNICAL GUIDE

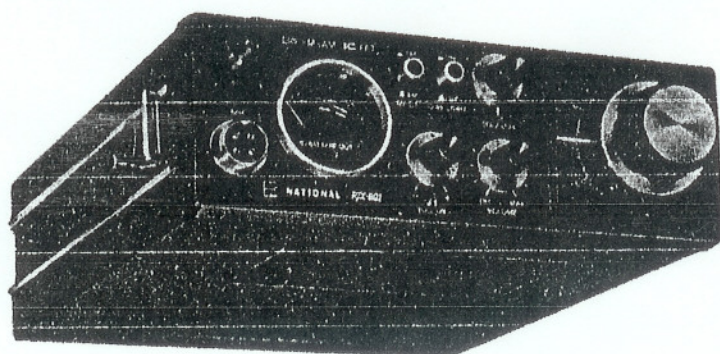
昭和48年2月

50~54MHz

FM-AM完全トランスジューバ方式

RJXB01

FET



標準価格 **34,000円**

定 格

●送信部

送信周波数 50~54MHz
電波型式 A3, F3
送信出力 3W/1W
変調方式 A3 終段コレクタ変調
F3 可変リアクタンス周波数
変調

最大周波数偏移 ±15kHz
基本発振周波数 21MHz
VFO発振周波数 29~33MHz
不要輻射 -60dB以下
空中線インピーダンス 50Ω

●受信部

受信周波数 送信周波数と同じ
電波型式 A3, F3
受信方式 ダブルスーパーヘテロダイン
受信感度 A3 1.5μVにてS/N=10dB以上
F3 1μVにてS/N=20dB以上
選 択 度 A3 ±2.5kHz以上(-6dBにて)
±10kHz以下(-30dBにて)
F3 ±15kHz以上(-6dBにて)
±40kHz以下(-30dBにて)

中間周波数 第1 IF 21MHz 第2 IF 455kHz
低周波出力 0.5W以上(10%歪率)

●電 源

定格電圧 DC 13.5V
使用電圧 DC 11~15V
接地方式 マイナス接地
消費電流 送信無変調時
(ランプOFF時) 約700mA (3W時)
約550mA (1W時)

受信待受時 約40mA

アンテナ長さ 9段1450mmホイップアンテナ
スピーカ 8cmPMダイナミックスピーカ
(8Ω)

マイクロホン 500Ω ダイナミックマイク
(プレストークスイッチ付)

形 状 190(幅)×65(高さ)×230
(奥行)mm

重 量 2.9kg
(マイクおよび電池を含む)

保証書は必ず発行し、登録カードは販売会社に返送しましょう。

松下電器産業株式会社・ラジオ事業部

■ 特 長

- 50～54MHzのすべてにわたって良好なQSOが可能

●完全トランシーブ方式

送受信とも高安定度を1VFOにより、ヘテロダイン方式による完全トランシーブ方式を採用しています。さらにこのVFOにはΔ回路（周波数微調回路）がついていますので、受信時には周波数のずれている局にも、正確に同調でき、いつも良好な受信ができます。

●送信出力 3 W/ 1 W

送信出力はワンタッチで3W(High)、1W(Low)の
切換えができます。遠距離局とは3W、近距離局
とは1Wで経済的なQSOができます。

●マーカ発振器内蔵

マーカ発振器 (29MHz) と可動型指針とにより
(50MHzにて校正) 正確な周波数でQSOができます。

●電源逆接続の保護

電源の極性を誤って接続した場合でも、保護回路により、回路に異常が生じないため初めてのなかでも安心して使用できます。

●スプリアスの放射は僅少

送信スプリアス放射を-60dB以下に押えて、他の無線局への妨害、あるいはTVIやBCIに対しても充分の配慮を施しています。

● 精巧なダイヤルメカ

ボールドライブ式微動機構とダブルギヤーとによって非常にスムーズな選局が行なえます。

● FM-AMの送・受信可能

前面のプッシュスイッチによりワンタッチで切換えることができます。

- 大きくて見易いメータ

スライドスイッチにより、電池電圧、信号強度、送信出力チェックが簡単にできます。

●夜間のQSOもバッチリ

メータならびにダイヤル目盛板に照明ランプがついていますから夜間でも良好なQSOができます。

●固定用にも使える

本機はハンディタイプトランシーバとして設計していますが、固定用にも使用できるように外部電源端子、外部アンテナ端子、外部スピーカ端子を設けています。

●マイク掛け金具を付属

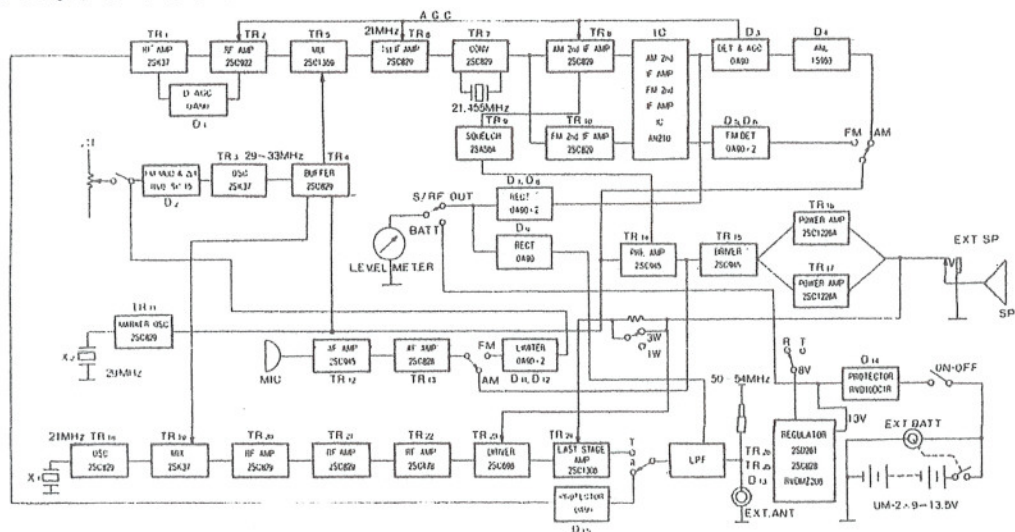
携帯に便利なマイク掛け金具を付属しています。

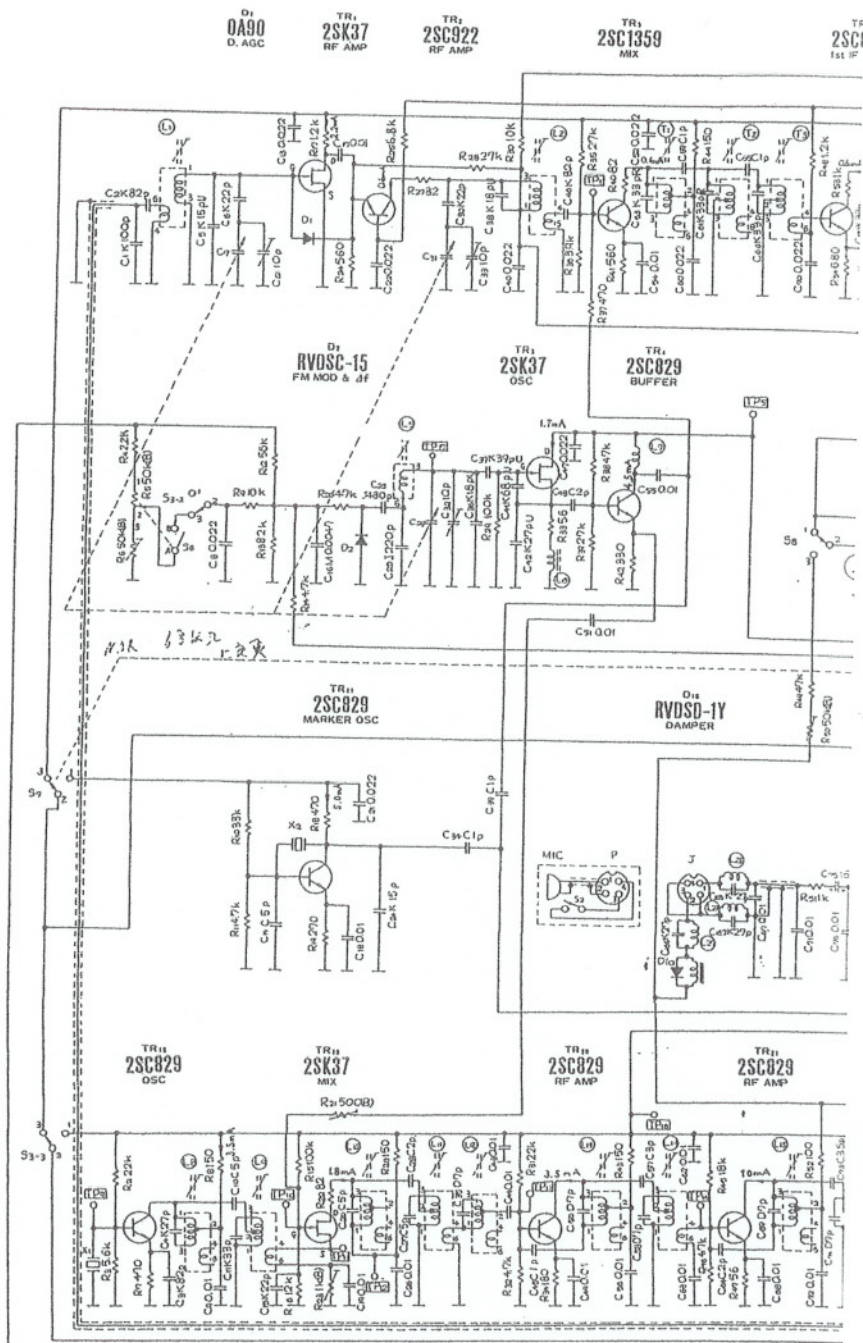
● 高級な回路設計

- ・高周波増幅回路を二段設け初段にはFETを採用してS/Nの向上ならびに混変調特性の向上を図り、後段には充分なAGCをかけて強入力特性の向上を図っています。
- ・直列制御形安定化回路を採用して減電圧特性の向上を図っています。
- ・FMおよびAMの専用IF回路を設けFMではシャープなりミッタ効果を、AMでは鋭い選択度特性を得ています。
- ・送信部に複調回路を3段使用して良好な周波数特性を得ています。

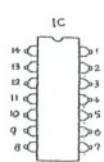
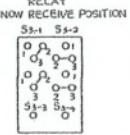
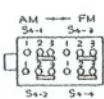
●本格的通信機タイプのハイメカニックなデザインです。

■ ブロックダイヤグラム

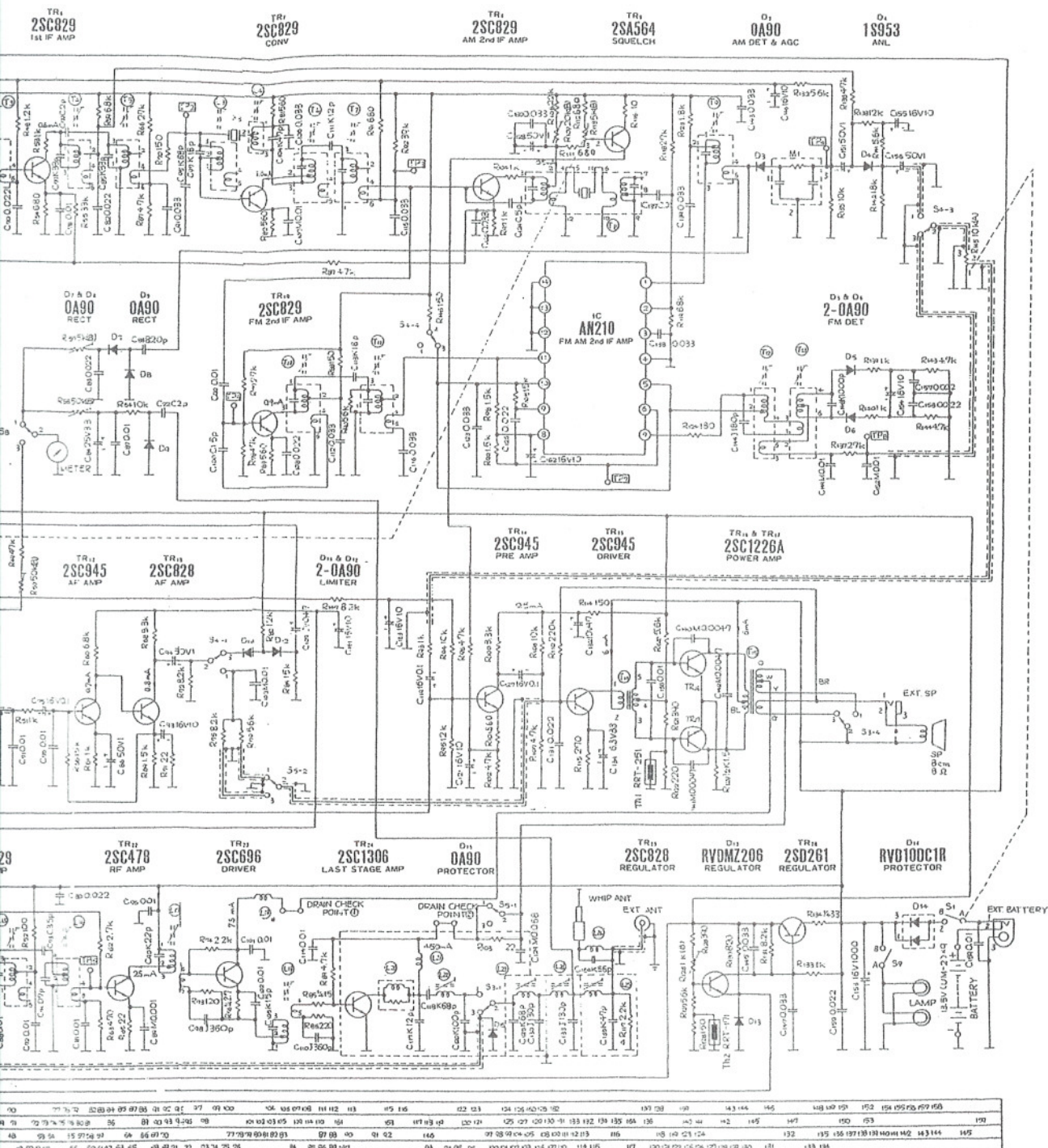




C	1	2	5	6	7	12	13	16	17	22	23	25	27	30	32	33	35	37	38	40	42	43	45	47	49	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70		
R	6	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50



BOTTOM VIEW



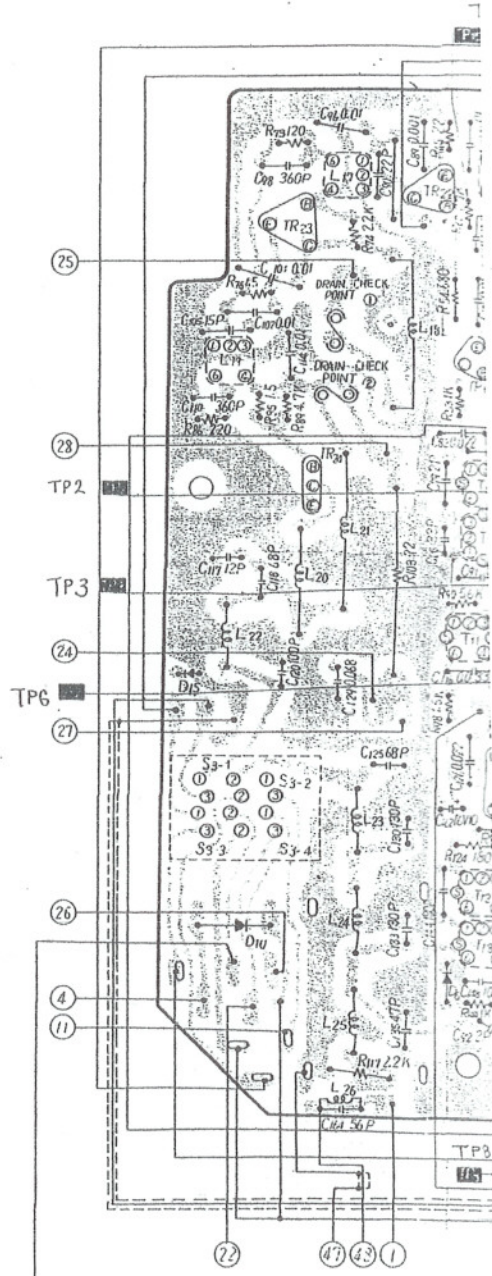
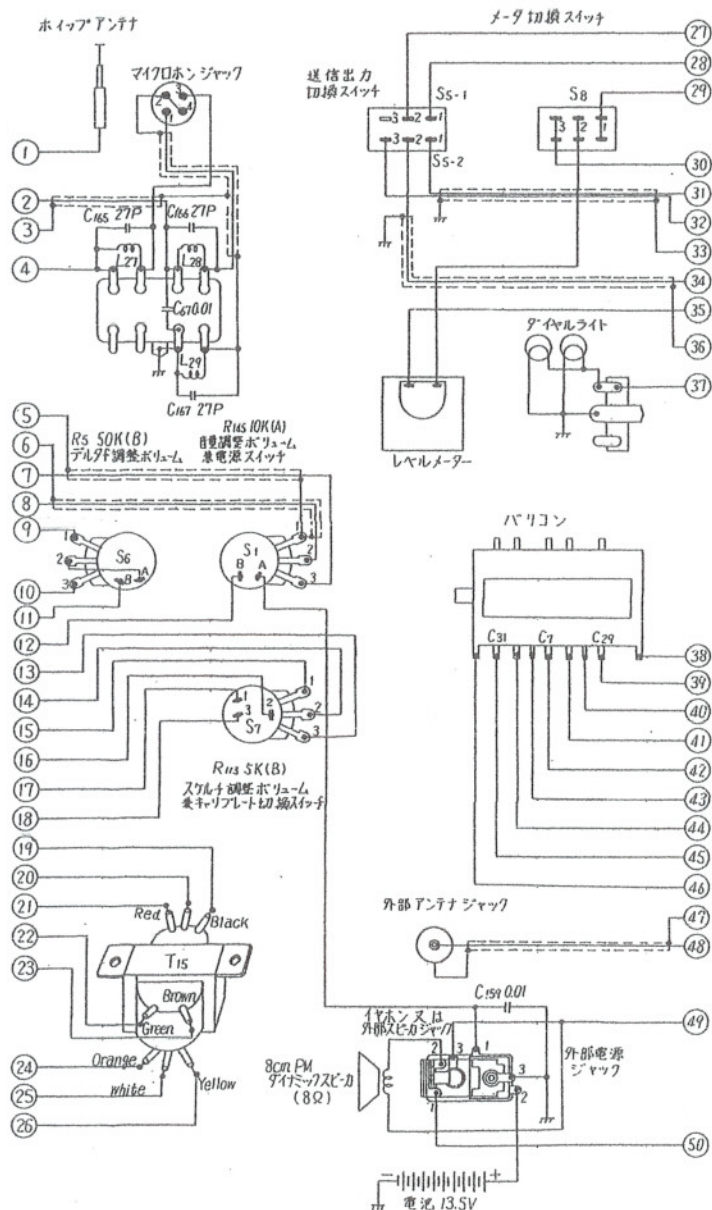
- (注) 1. S₁: 電源スイッチ。現在位置は“OFF”です。
 2. S₂: 受信周波数(フェースト)スイッチ。現在位置は“受信”です。
 3. S₃~S₄: リレースイッチ。現在位置は“受信”です。
 4. S₅~S₆: FM-AM切替スイッチ。現在位置は“FM”です。
 5. S₇~S₈: 送信出力切替スイッチ。現在位置は“3W”です。
 6. S₉: 受信周波数(デルタ f)スイッチ。現在位置は“OFF”です。

7. S₉: ステレオ調整兼キャリブレーション切替スイッチ。現在位置は“ステレオON”です。
 8. S₁₀: ノータ切替スイッチ。現在位置は“S/RF”です。
 9. S₁₁: デイライト切替スイッチ。現在位置は“OFF”です。
 10. 記入電圧値はシャシーとトランジスタ各極間を内部抵抗10KΩ/Vのテスターによる実測値です。
 (無信号及び音圧調整ボリューム最小にて測定)
 この回路図は基本回路図です。セットの改良その他によって一



- (注) 1. S₁: 電源スイッチ。現在位置は“OFF”です。
2. S₂: 送受信切換(プッシュトウキス)スイッチ。現在位置は“受信”です。
3. S₃→S₄: リレースイッチ。現在位置は“受信”です。
4. S₅→S₆: FM-AM切換スイッチ。現在位置は“FM”です。
5. S₇→S₈: 送信出力切換スイッチ。現在位置は“3W”です。
6. S₉: 送信周波数変調(デルトa f)スイッチ。現在位置は“OFF”です。
7. S₉: スケルトン調整表キャリブレーション切換スイッチ。現在位置は“スケルトンON”です。
8. S₉: モータ切換スイッチ。現在位置は“S/RF”です。
9. S₉: ディアルクルリ切換スイッチ。現在位置は“OFF”です。
10. 記入電圧値はレシヤータとトラツタス各極間を内部抵抗10KΩ/Vのオシロスコープによる実測値です。
(無負荷及び音電調調整ボリューム最小にて測定)
この図回路は基本回路ですから、セットの改良その他によって一

	TR2	TR4	TR5	TR6	TR7	TR8	TR10	TR14	TR15	TR16	TR17	TR18	TR20	TR21	TR22	TR23
Vc	4V	8.1V	8V	3.3V	4V	5.6V	8V	6.2V	12V	12.5V	12.5V	7.7V	7.6V	11.5V	12.5V	12.2V
Vb	0.8V	1.55V	0.9V	0.9V	1.05V	1.05V	1.05V	3V	2.2V	0.6V	0.6V	1.4V	1.2V	1.15V	0.6V	0.3V
Ve	0.35V	1.5V	0.95V	0.45V	0.6V	0.6V	0.6V	2.2V	1.8V	0V	0V	1.1V	0.7V	0.55V	0.55V	0V
Ic	0.5mA	4.5mA	0.6mA	0.6mA	1mA	0.5mA	0.9mA	0.5mA	6mA	6mA	6mA	3.5mA	3.5mA	10mA	25mA	75mA



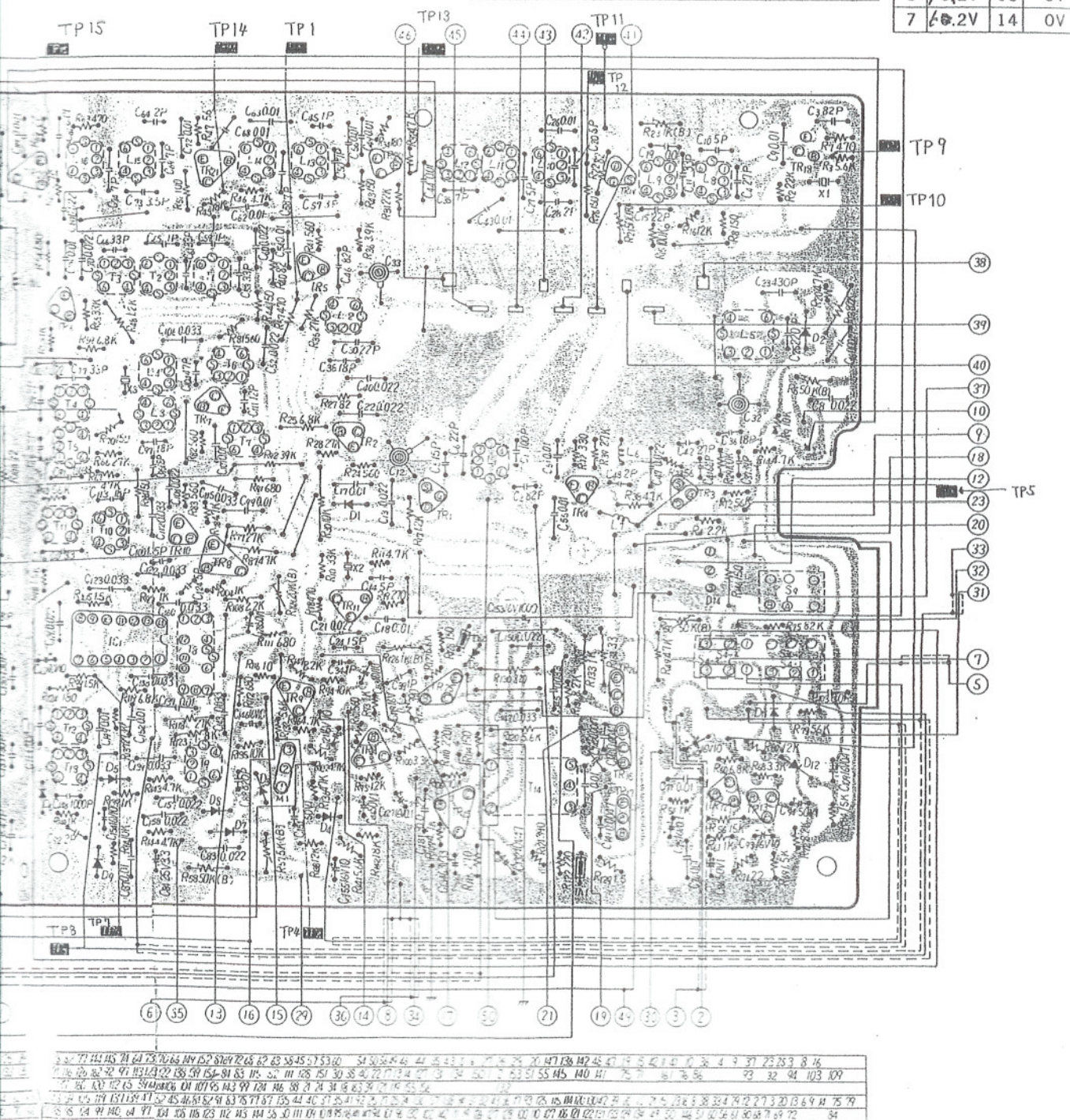
C	105	67	166	167	110	105	117	102	103	106	108	124	117	125	107	110	112	164	130	103	118
R	86	76	85	73	81	74	117	103	54	87	110	112	164	130	103	118	86	76	85	73	81

TR23	TR24	TR25	TR26
12.2V	11V	9V	12V
0.3V	-1V	7V	9V
0V	0V	6V	8V
75-A	450mA	—	—

	TR1	TR3	TR19
Vd	6V	8.2V	7.5V
Vg	0V	0V	0.6V
Vs	0V	0.1V	0.9V
Id	2.2mA	1.7mA	1.8mA

	TR9	TR11	TR12	TR13
	スケルチ (OFF)	スケルチ (ON)	発振時	送信時
Vc	7.9V	8V	6.4V	2.1V
Vb	1.9V	7.4V	0.9V	1.4V
Ve	8V	8V	1.6V	0.85V
Ic	—	—	5mA	0.7mA

	IC1		
1	6V	8	/0.2V
2	1.2V	9	30.2V
3	0.8V	10	60.2V
4	0V	11	/0.2V
5	60.2V	12	0V
6	/0.2V	13	0V
7	60.2V	14	0V

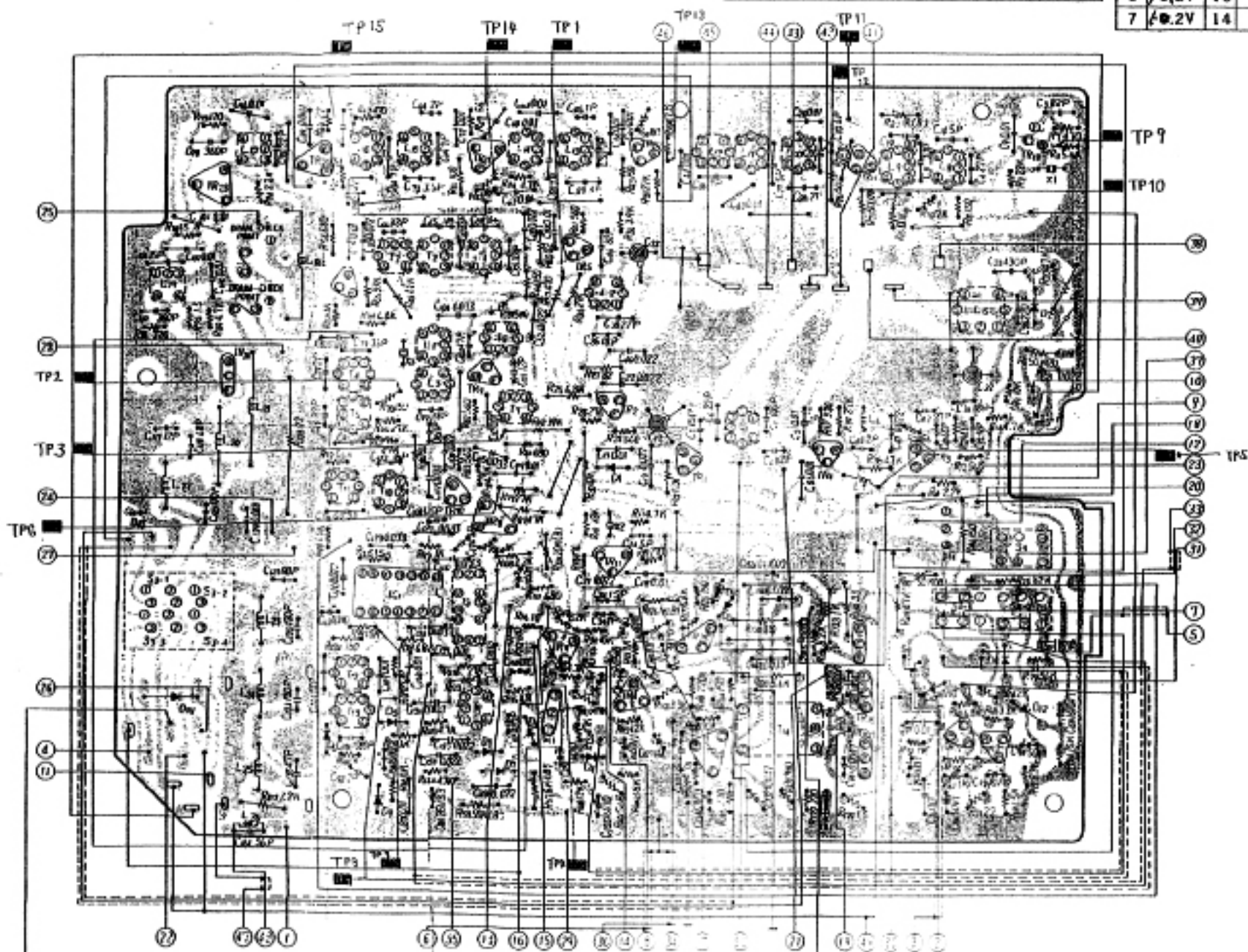
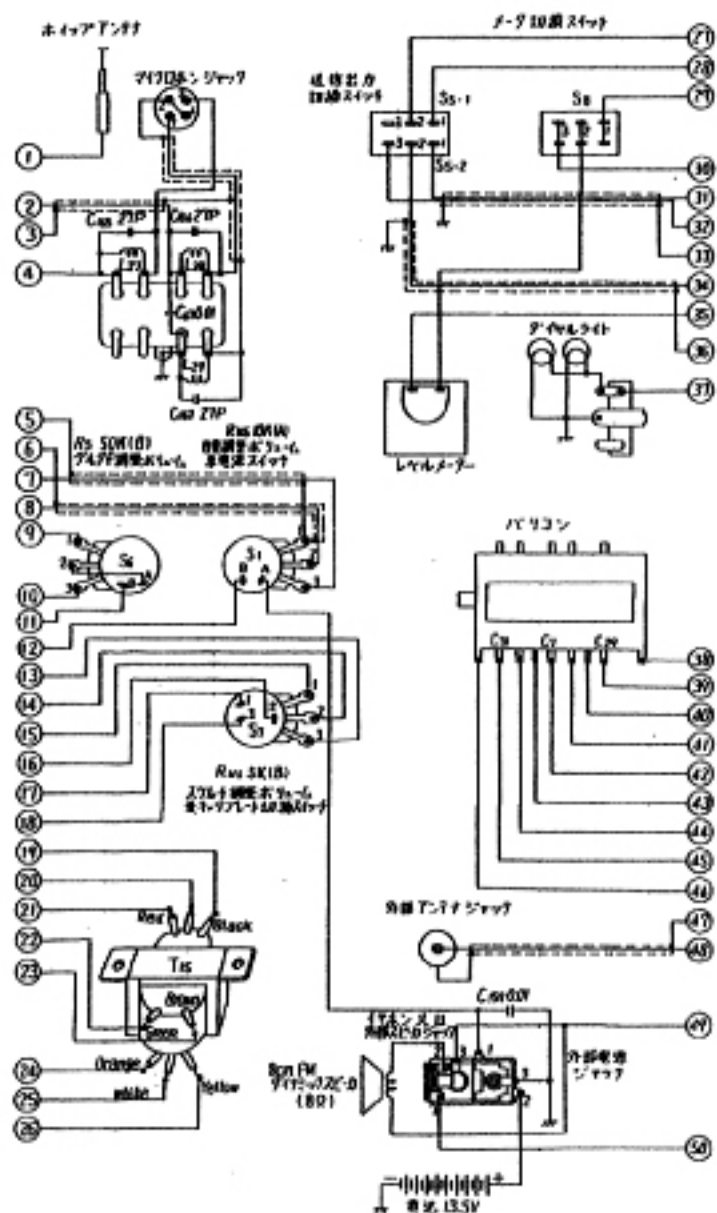


	TR2	TR4	TR5	TR6	TR7	TR8	TR10	TR14	TR15	TR16	TR17	TR18	TR20	TR21	TR22	TR23	TR24	TR25	TR26
Vc	4V	8.1V	8V	3.3V	4V	5.6V	8V	6.2V	12V	12.5V	12.5V	7.7V	7.6V	11.5V	12.5V	12.2V	1V	9V	12V
Vb	0.8V	1.55V	0.9V	0.9V	1.05V	1.05V	1.05V	3V	2.2V	0.6V	0.6V	1.4V	1.2V	1.15V	0.6V	0.3V	-1V	7V	9V
Ve	0.35V	1.5V	0.95V	0.45V	0.6V	0.6V	0.6V	2.2V	1.8V	0V	0V	1.1V	0.7V	0.55V	0.55V	0V	0V	6V	8V
Ic	0.5mA	4.5mA	0.6mA	0.6mA	1mA	0.5mA	0.9mA	0.5mA	6mA	6mA	6mA	3.5mA	3.5mA	10mA	25mA	75mA	450mA	—	—

	TR ₁	TR ₃	TR ₁₉
V _D	6V	8.2V	7.5V
V _G	0V	0V	0.6V
V _S	0V	0.1V	0.9V
I _D	2.2mA	1.7mA	1.8mA

TR9			TR11	TR12	TR13
	スケルチ (OFF)	スケルチ (ON)	発振時	送信時	送信時
Vc	7.9V	8V	6.4V	2.1V	4.6V
Vb	1.9V	7.4V	0.9V	1.4V	2.1V
Ve	8V	8V	1.6V	0.85V	0.85V
Ic		—	5mA	0.7mA	0.8mA

IC1			
1	6V	8	0.2V
2	1.2V	9	3.0V
3	0.8V	10	6.0V
4	0V	11	0.2V
5	0.2V	12	0V
6	0.2V	13	0V
7	0.2V	14	0V



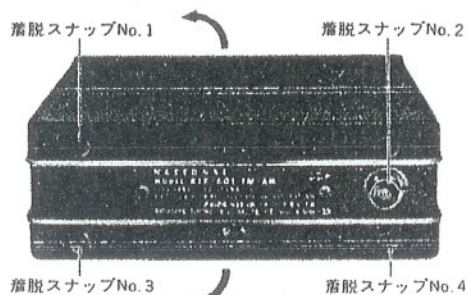
C	85 17 88 87	1985年12月10日 12 11 12	1985年12月10日 12 11 12
R		1985年12月10日 12 11 12	1985年12月10日 12 11 12

■ キャビフタ取外し取付要領

●キャビフタを取外す場合は次の要領で行なって下さい。

1. 第1図に示すキャビフタ取付着脱スナップ、No.1～4を第2図に示すように手前に引き着脱スナップを外して下さい。
2. キャビフタを手前に引いてから第1図に示す矢印方向にキャビフタを外して下さい。

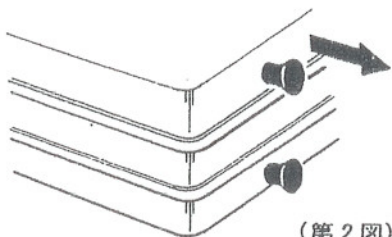
●キャビフタを取付ける場合は下記の注意に従って上記順序を逆に行なって下さい。



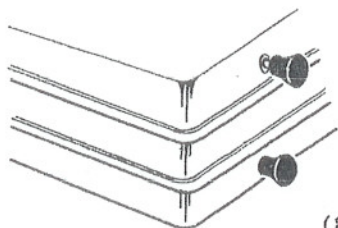
(第1図)

〔注〕

1. 着脱スナップの頭部を押し込まずにスナップをケースに入れて下さい。(第3図)
2. 着脱スナップの頭部を押し込んで下さい。



(第2図)



(第3図)

■ 調整要領

部品故障取換えにより再調整を必要とする場合は下記要領で行なって下さい。

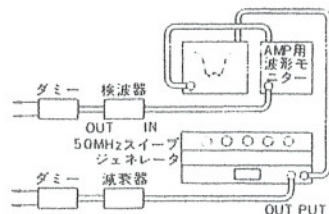
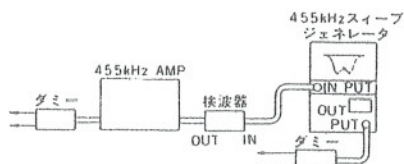
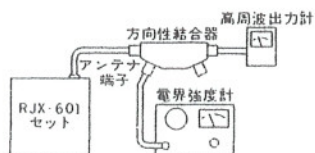
- 〔注〕 1. 調整ズレは出力不足、周波数ズレ等の原因となりますので出来るだけ正確に調整して下さい。
2. 調整の際は必ず調整ドライバーを使用して下さい。



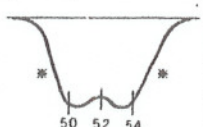
●使用測定器：

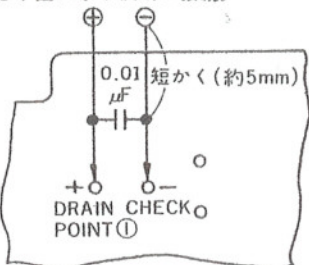
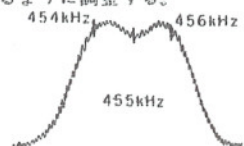
●セットの状態：

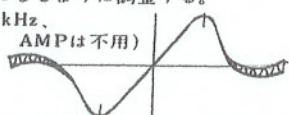
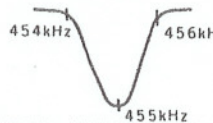
- | | |
|---------------|--------------------|
| 1. 周波数カウンター | 8. 高周波出力計(50Ωダミー付) |
| 2. スイープジェネレータ | 9. 直流電流計(100mA) |
| 3. 標準信号発生器 | 10. 低周波発振器 |
| 4. 直線検波器 | 11. 方向性結合器 |
| 5. P型高周波バルボ | 12. 電界強度計 |
| 6. 低周波バルボ | 13. 455kHz AMP |
| 7. シンクロスコブ | 14. 検波器 |

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1. SQUELCH | 0 |
| 2. VOLUME | ON |
| 3. DIAL LIGHT | OFF |
| 4. MODE | FMまたはAM |
| 5. Δf PULL ON | OFF |
| 6. RF OUT | HIGH |
| 7. 電源電圧 | 13.5V |

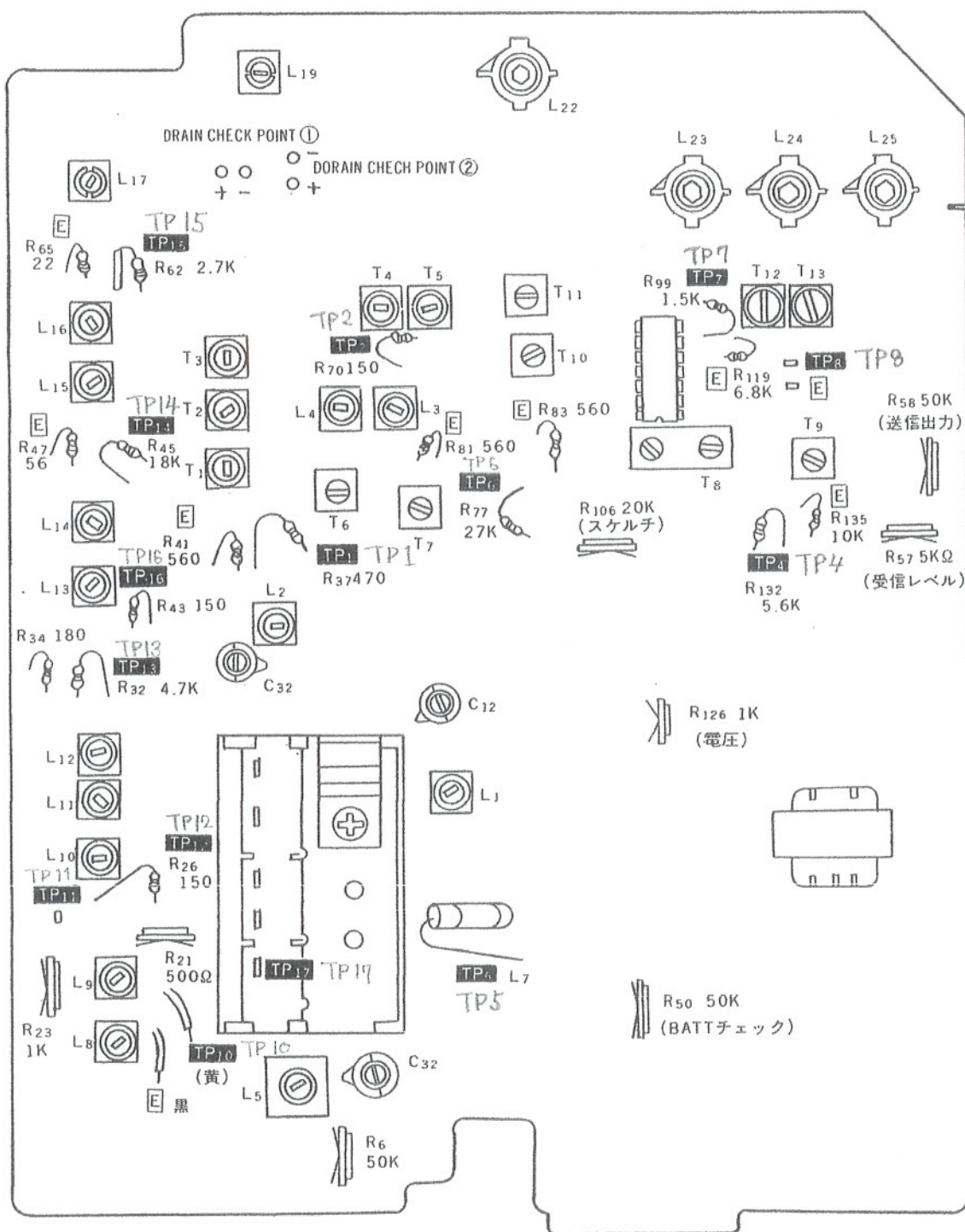


調整回路	順序	計測器の接続	調整箇所	調整要領
電源部調整	1	電圧計 ⊕側……………TP5 L ₇ ⊖側……………E に接続。	R ₂₆	R ₁₂₆ (1 KΩ)を回わして電圧計の振れを8 Vに調整する。
	2		R ₅₀	バッテリーチェック目盛調整、メータ切換スイッチをMETERにレベルメータの振れが(+40)になるようR ₅₀ を調整する。(左図)
V F O調整	3	周波数カウンタに100pFを通して ①側……………TP ₁ R ₃₇ TP1 ②側……………E R ₄₁ に接続。	L ₅ C ₃₂	①白色指針を水平に合わせる。 ②ダイヤル目盛を50MHzに正しく合わせ、つまみをCALに合わせてL ₅ を調整して“0”ビートをとる。この時周波数カウンタの指示は29MHz(±2 kHz) ③ダイヤル目盛を54MHzに合わせC ₃₂ を回わし周波数カウンタの指示が33MHz(±8 kHz)であること。 ④①、②、③項を2～3回繰り返す。
	4		R ₆	①順序3～②項で周波数をカウントしΔfつまみを“0”に合わせΔfつまみを引張る。 ②R ₆ を回わしビートが“0”になるよう調整する。 ③ΔfがOFFの周波数に対してΔfがONの場合±200Hz以内、又Δfの変幅が±15 kHz以上 平均20kHzであること。
送信調整(一部)	5	DRAIN CHECK POINT①を外す。 ⊕側……………TP ₁₁ TP11 ⊖側……………E (黒) に接続。		周波数カウンタの指示が21MHz±700Hzであること。調整順序11を調整後確認する。
	6	D.Cバブルボル ⊕側……………TP ₁₂ R ₄₃ ⊖側……………TP ₁₆ R ₂₅ TP16に接続。	R ₂₅	R ₂₅ 1 kΩを回わしD.Cバブルボルの指示が250 mVに調整。
高周波調整	7	①TP ₁₇ とアース間をジャンパー線で短絡する。 ②50MHz用スイープジェネレータの出力端子に0.01μFを通して ⊕側……………TP ₁₀ (黄) ⊖側……………E (黒) に接続。 (アッテネータを使用すること。 (出力は波形が歪まないこと。	L ₁₀ L ₁₁ L ₁₂	①L ₁₀ のコアをケース上面まで抜く。 ②L _{10,11,12} のコアを回わし左図の様に調整する。L ₁₂ のコアを回わし54MHzの波形を少し下げる。(L ₁₂ は58MHz用のトラップ)
	8	スイープジェネレータ入力端子 TP14 ⊕側……………TP ₁₄ R ₄₅ ⊖側……………E R ₄₇ に接続。	L ₁₃ L ₁₄	①L ₁₃ のコアをケース上面まで抜きスイープジェネレータの出力を6 dB下げる。 ②L _{13,14} のコアを回わし波形が左図のようになるように調整する。
	9	 スイープジェネレータの入力端子 TP15 ⊕側……………TP ₁₅ R ₆₂ ⊖側……………E R ₆₅ に接続。	L ₁₅ L ₁₆	①L _{15,16} のコアを回わし左図のように※の部分に直線に近く立てるよう調整する。 (注) L ₆ のコアをボビンの下の所にする。 ②TP ₁₇ とアース間のジャンパー線を外す。

調整回路	順序	計 測 器 の 接 続		調整箇所	調 整 要 領								
送 信 調 整 プ レ ス ト ー ク ス ス ッ チ O N	10	高周波バルボ ⊕側……………TP ₁₀ (黄) ⊖側……………E (黒) に接続。	TP ₁₀ E	R ₂₁	ダイヤル目盛を52MHzに合わせ高周波バルボの指示を200mVにR ₂₁ を調整する。								
	11	高周波バルボ ⊕側……………TP ₁₁ ⊖側……………E (黒) に接続。	TP ₁₁ E	L ₉ L ₈	L ₉ にて出力を最大、L ₈ にて出力が最大点よりコアが中へ入る方向にて高周波バルボの指示が200mVにて調整する。								
	12	50Ω、5W高周波出力計を外部アンテナ端子に接続。 TR ₂₃ のドレインチェックポイント①に100mAの電流計を下図に示す個所に接続。 	0.01μF 短かく(約5mm) DRAIN CHECK POINT ①	L ₁₇ L ₁₉ L ₂₇ L ₂₃ L ₁₂	①L ₁₇ のコアを回しTR ₂₃ のドライバー電流が最大になるよう調整する。 ②L ₁₉ のコアを回しTR ₂₃ のドライバー電流が最小点より1/4回転ボビンの中に入った所に調整する。 ③L ₂₇ のコアを回し送信出力が最大になるよう調整する。(DRAIN CHECK POINT ②の電流は約450mAであること) ④ダイヤル目盛を50MHzに合せて電界強度計にて58MHzのスプリアスを測定しL ₁₂ のコアを回し切った位置(下)から上げて行きディップする手前で電界強度計の指示を30dBに調整する。(指示が30dB以下の場合 L ₁₂ の調整は不用)								
	注) 送信出力が50MHzで2.6W、52MHzで2.9W、54MHzで2.4W以上あること。												
	14	マイク入力端子に低周波発振器(1kHz、出力インピーダンス600Ω、3mV)を接続。 (セッとはFMの位置)				直線検波器の指示値が7~15kHzであること。 注①FM、入力電圧10mV近辺で飽和すること。 ②AM、入力1~2.5mVで変調度が50%になること。							
15				R ₅₈	レベルメータの振れが(+40)になるようR ₅₈ を調整する。								
16	周波数カウンターに5.6kΩ、0.01μFを通して高周波出力計に接続。				下記に示す各送信周波数の確認する。 <table border="1"><thead><tr><th>送信周波数</th><th>送信周波数許容誤差</th></tr></thead><tbody><tr><td>50MHz</td><td>50MHz ± 5kHz</td></tr><tr><td>52MHz</td><td>52MHz ± 50kHz</td></tr><tr><td>54MHz</td><td>54MHz ± 15kHz</td></tr></tbody></table>	送信周波数	送信周波数許容誤差	50MHz	50MHz ± 5kHz	52MHz	52MHz ± 50kHz	54MHz	54MHz ± 15kHz
送信周波数	送信周波数許容誤差												
50MHz	50MHz ± 5kHz												
52MHz	52MHz ± 50kHz												
54MHz	54MHz ± 15kHz												
受 信 調 整 (455kHz)	17	スweepジェネレータの出力端子に1kΩ、0.033μFを通してTP ₂ ⊕側……………TP ₇ R ₇₆ ⊖側……………シャーシーに接続。 (455kHz、出力は波形の歪みのないところに設定)	TP ₂ TP ₇ E	T ₆ T ₇	①セッの状態をFMにし、L ₄ 、T ₆ の黄色コアをケース上面まで抜く。(MODE, FM) ②T ₆ 、T ₇ のコアを回わして波形のセンターを455kHzになるように調整する。 ③T ₁₀ のコアをケース上面まで抜く。 注) TP ₁₇ とアース間を短絡する。 TP ₁₇								
	18	(455kHz、出力は波形の歪みのないところに設定)	スweepジェネレータの入力端子に検波器、455kHzAMP、10kΩを通してTP ₇ ⊕側……………TP ₇ R ₇₆ ⊖側……………E R ₁₁₉ に接続。	TP ₇ E	T ₁₀ T ₁₁	T ₁₀ 、T ₁₁ のコアを回わして下図に示す波形になるように調整する。 							

調整回路	順序	計測器の接続		調整箇所	調整要領							
受信調整	2nd 中間周波調整 (455 kHz)	19	スイープジェネレータの出力端子に1 k Ω 、0.033 μ Fを通してTP12 ⊕側……TP12 R70 ⊖側……シャーシに接続。	スイープジェネレータの入力端子に10 k Ω を通して ⊕側……TP12 TP8 ⊖側……Eに接続。	T12、T13のコアを回して波形の斜傾部が直線、直線部が長くなるようにまたセンターが455 kHzになるように調整する。 (455 kHz、AMPは不用) 							
		20	(455 kHz、出力は波形の重みのないところ)に設定 スイープジェネレータの入力端子に10 k Ω を通して ⊕側……TP4 TP1 R132 ⊖側……E R135に接続。	T8 T9	セットの状態をAMにし、T8、T9のコアを回して下図に示す波形になるように調整する。 							
	混合器調整	21	高周波バルボ ⊕側……TP1 R70 TP2 ⊖側……E R61に接続。 (以下の調整のセット状態は“AM”) (21 MHzに校正すること)	L4	セットの周波数を52 MHzに合わせL4のコアを回して発振電圧を最大点よりコアを抜いて100 mVになるように調整する。							
	1st 中間周波調整 (21 MHz)	22	SSGに1 k Ω 、0.033 μ Fを通して ⊕側……TP1 R37 TP1 ⊖側……E R61に接続。 (21 MHzに校正すること)	T1 T3	VR MAX T1～T3のコアを回して低周波出力が最大になるように調整する。(感度最大) (セットをAMの位置にする。)							
高周波調整	高周波調整	23	SSGを外部アンテナ端子に接続。	L1 L2 L3 C12 C33 R67 L4	①セットのダイヤルを50 MHzに合わせL1、L2のコアを回して感度が最大になるように調整する ②セットのダイヤルを54 MHzに合わせC12、C33のトリマーを回し感度が最大になるように調整する。 ③2～3回繰返し調整する。 ④周波数帯が約49.9 MHz～54.1 MHzであることを確認する。 ⑤セットのダイヤルを50 MHzに合わせSSGの出力20 dBにてレベルメータの指示がS9の位置に振れるようにR67を調整する。 ⑥セットのダイヤルを53 MHz近くに回すとビートが発生しレベルメータが振れるのでL3のコアを回してレベルメータの振れが最小になるように調整する。その後L4にて100 mVになるよう調整する。(TP2)							
	整	24	周波数カウンターに100 pFを通してSSGと並列に接続。	R100	①下記に示す各ダイヤル位置の受信周波数を確認する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>ダイヤルの位置</th><th>受信周波数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>50 MHz</td><td>50 MHz \pm 5 kHz</td></tr> <tr> <td>52 MHz</td><td>52 MHz \pm 50 kHz</td></tr> <tr> <td>54 MHz</td><td>54 MHz \pm 15 kHz</td></tr> </tbody> </table> ②52 MHzにてSSGの出力を40 dBにしスケルナが開くようにR100を調整する。	ダイヤルの位置	受信周波数	50 MHz	50 MHz \pm 5 kHz	52 MHz	52 MHz \pm 50 kHz	54 MHz
ダイヤルの位置	受信周波数											
50 MHz	50 MHz \pm 5 kHz											
52 MHz	52 MHz \pm 50 kHz											
54 MHz	54 MHz \pm 15 kHz											

■ 調整箇所図



RJX-601 補修部品価格表

No. 1 機構部品

昭和48年2月

●太文字は新部品を示しております。

部品番号	品番	部 品 名	1台 個数	標準 価格	¥	摘 要	互換性
	RYMRJX601N	準備済キャビ前面		650	930	準備済キャビ前面一式	新
1	RGX421A	カザリ		180	260	キャビ前面のTUNINGマーク表示板	新
2	RGX422A	カザリ		160	230	キャビ前面メータ周囲の装飾板	新
3	RGP191A	パネル		60	90	キャビ前面の透明板	新
4	RDP94A	指針		35	55	ダイヤル指示用	新
	RUL205A	ウケ金具		20	30	指針取付用	新
5	RBT48A	ノッブ		25	40	CAL調整用ツマミ	新
6	RJS39A	コネクタ		160	230	マイクロホン用	新
7	RGB108A	パツジ		10	20	キャビ前面のナショナルマーク	新
8	RSM2306A	レベルメータ		500	710	S/BATT/RF OUT用	新
	RUL156A	ウケ金具	2	10	20	メータ取付用	新
9	RBN169A	ノッブ		190	270	Tuning用ツマミ	新
10	RBN170A	ノッブ	3	90	130	VOLUME, SQUELCH, PULL ON用ツマミ	新
	RYFIRJX601N	準備済キャビフタ		420	600	上面部	新
	RYF2RJX601N	準備済キャビフタ		420	600	底面部	新
11	RBX10A	槽脱スナップ	4	25	40	キャビフタ取付用(短)	新
12	RBX11A	槽脱スナップ	4	25	40	キャビフタ取付用(長)	新
13	RGB100C	パツジ		40	60	キャビ底面フタのNATIONALマーク	新
	EAS8P65SW	スピーカ		240	340	8cm FMダイナミック、 インピーダンス8Ω	新
	RMS111-I	ウケ金具		10	20	スピーカ取付用(大)	新
	RMS47	ウケ金具	2	10	20	スピーカ取付用(小)	新
	RUD97	間座	2	10	20	スピーカ取付用(短)	新
	RUD151	間座	2	15	25	スピーカ取付用(長)	新
14	RGX423A	カザリ		750	1050	キャビ周囲の装飾板	新
15	RGT306A	ネームプレート		30	50	キャビ後面の定格板	新
16	RKT19B	カザリ	2	15	25	ベルトウケ金具用	新
17	RKX31B	ウケ金具	2	45	65	ベルト取付用	新
	RHR118A	ワッシャ	2	15	25	ベルトウケ金具取付用	新
	RJK6301A	バイブ	3	95	135	電池用	新
	XSB3+10BVS	ネジ	2	5	10	ベルトウケ金具取付用	
	XSB3+6BVS	ネジ	10	5	10	カザリ(RGX423A)及びキャビ前 面取付用	
18	XEARBV190JAS	ホイップアンテナ		420	600	9段 1450mm	新
	XSB3+10BNS	ネジ		5	10	ホイップアンテナ取付用	
	XWC3B	ワッシャ		5	10	ホイップアンテナ取付用	
19	RSH55A	スイッチ		150	210	FM-AM切換用	新
20	RSH56A	スイッチ		180	260	パイロットランプ切換用	新
21	RSS26A	スイッチ	2	80	120	メータ及び送信出力切換用	新
22	RJJ20	ジャック		50	70	外部電源及びイヤホン用	RF-670
23	RJS57A	コネクタ		380	540	外部アンテナ用	新
	RYDRJX601N	準備済メモリ板		75	110	準備済メモリ板一式	新
	XAM16T150	パイロットランプ	2	75	110	ダイヤル及びメータ照明用	新
	RHG211	ゴム	2	10	20	パイロットランプ取付用	RF-747
	RSL10A	リレー		700	1000	送受信回路切換用	新
24	RUV118B	カバー	5	10	20	スイッチ及びコントロール用	RF-848
	RJB6012	端子板	3	10	20	電池⊖側用	RF-690
	RJB6013	端子板	3	10	20	電池⊕側用	RF-690

No. 2 機構部品

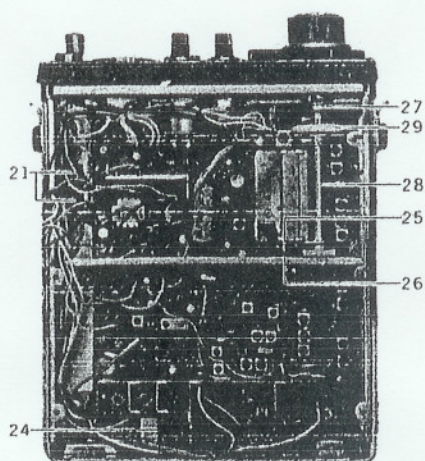
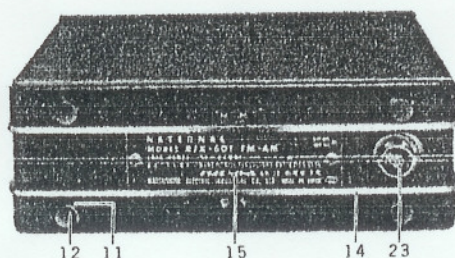
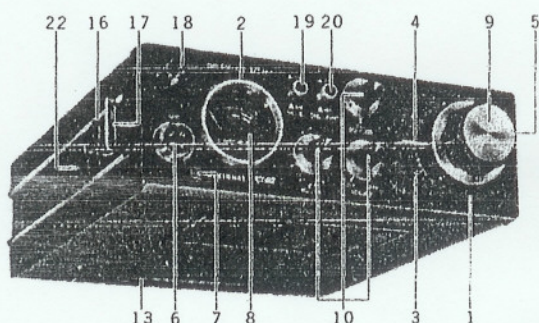
部品番号	品番	部 品 名	1台個数	標準価格	¥	摘 要	互換性
	RJB9001-1	端 子	3	10	20	電池⊖側用	RF-690
	RJC203	端 子	3	10	20	電池⊕側用	RF-690
	RJC601	ス プ リ ン グ	3	30	50	電池⊖側用	RF-858D
25	RDG7-1	ギ ャ ー		45	65	バリコン用(厚)	RE-767
26	RDG605-1	ギ ャ ー		25	40	バリコン用(薄)	RF-890
	RUS80	ス プ リ ン グ		15	25	ギヤー用	新
	RNW325	ワ ッ シ ャ		5	10	ギヤー取付用	
	XSN26D8	ネ ジ		5	10	ギヤー取付用	
27	RDT9042A	シ ャ フ ト		300	430	同調用	新
28	RDT9043A	シ ャ フ ト		110	160	同調用(ギヤー付)	新
29	RDE46AS	ユニバーサルジョイント		190	270	同調シャフト用	新
	XXAR3H6S	ネ ジ		5	10	ユニバーサルジョイント取付用	
	XTW3D6LR	赤 塗 ネ ジ	5	5	10	プリント基板取付用	
	RHE7018A	ナ ッ ト		15	25	同調シャフト取付用	新
	RHR110A	ワイヤーナット		10	20	リード線接続用	新
	IJMRJX601N	マイクロホン完成		1500	2150		新
	RJP50A	ソ ケ ッ ト		480	690	マイクロホン用	新
	RQC7420	ベ ル ト		300	430		新
	RQC4131	E P ケ ー ス		90	130		新
	RXERJX601N	準備済付属ビス等		200	290		新

No. 3 電気部品

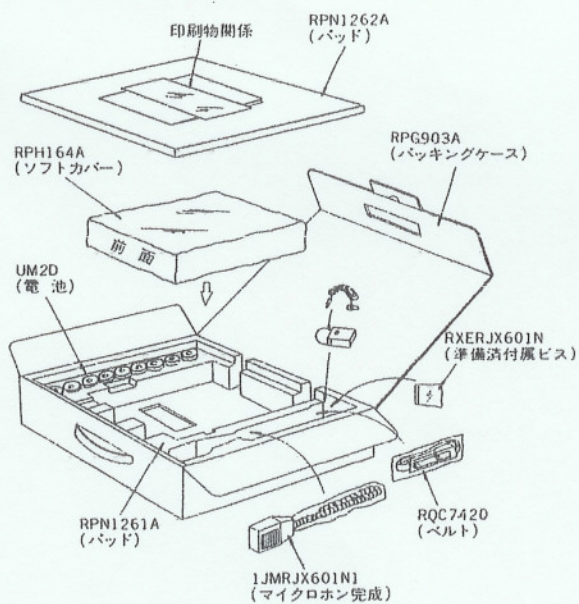
部品番号	品番	部 品 名	1台個数	標準価格	¥	記 号	摘 要	互換性
	抵抗:							
	EVC58BL25B54	ボ リ ュ ー ム		260	370	R ₅	デルタ/調整用	新
	EVL70AA00B54	半固定ボリューム	3	35	55	R _{6,50,58}	送信レベルノータ調整用	RJ-50
	EVL70AA00B52	半固定ボリューム		35	55	R ₆₁	送信調整用	RJ-20D
	EVL70AA00B13	半固定ボリューム	2	35	55	R _{23,126}	局発及び電源調整用	RF-868D
	EVL70AA00B53	半固定ボリューム		35	55	R ₅₂	受信レベル調整用	RE-788
	EVL70AA00B24	半固定ボリューム		35	55	R ₁₀₅	スケルチ調整用	RJ-28
	EVHB0TL25A14	ボ リ ュ ー ム		130	190	R ₁₄₅	電源スイッチ兼音量調整用	新
	RVV53B3-A	ボ リ ュ ー ム		120	170	R ₁₁₃	キャリアプレート切替スイッチ兼スケルチ調整用	新
	コンデンサ:							
	ECV3MX03X13A	パ リ コ ン		460	660	C _{7,20,31}		新
	ECV1ZW10P32	ト リ マ ー	3	30	50	C _{12,32,33}		RC-708
	コイル:							
	RLA7B16-T	受信用アンテナ検波	2	80	120	L _{1,2}		新
	RLA7B18-T	受信用トラップ 送信用高周波	5	80	120	L _{10,18,21,23,24}		新
	RLO7B5-T	受信用発振		80	120	L ₄		RJ-20D
	RLO7C11-T	V F O 発 振		80	120	L ₅		新
	RLQX101-1-Q	VFO RFチョーク		30	50	L ₆		RF-747
	RLQX100-1	"		20	30	L ₇		RJ-18
	RLD7B4-T	送信用発振	2	80	120	L _{8,9}		RJ-18
	RLA7B17-T	送信用RFトラップ	3	80	120	L _{10,11,12}		新
	RLA7N14-T	送信用バッファ		80	120	L ₁₇		新

No. 4 電気部品

部品番号	品番	部品名	1台 個数	標準 価格	¥	記号	摘要	互換性
	RLQP25G2	送信用RFチョーク		60	90	L ₁₈		新
	RLA7N15-T	送信用ドライブ		80	120	L ₁₉		新
	RLQZ11S1	送信用RFチョーク		60	90	L ₂₀		新
	RLQP0101	"		60	90	L ₂₁		新
	RLA7Q1-T	フィルタ	4	70	100	L _{22,23,24,25}		新
	RLQY15S5	ローディング		20	30	L ₂₆		RF-850D
	RLQY50S5	"	3	20	30	L _{27,28,29}		RF-858D
	トランス:							
	RLD7B4-T	1st I F T	5	80	120	T _{1,2,3,4,5}		RJ-18
	RLI2B450-M	FM & AM 2nd I F T	4	80	120	T _{6,7,10,11}		RJ-20D
	RLI7W111-T	AM 2nd I F T		180	260	T ₈		新
	RLI2B451-M	AM 2nd I F T		80	120	T ₄		RJ-50
	RLI2B501-T	FM 2nd I F T		80	120	T ₁₂		新
	RLI2B502-T	FM 2nd I F T		80	120	T ₁₃		新
	RLT3F33	入 力		90	130	T ₁₄		RF-850D
	RLT4J5	変調及び出力		400	570	T ₁₅		新
	その他:							
	2SK37	トランジスタ	3	550	790	TR _{1,2,19}	FETトランジスタ	
	2SC922	"		70	100	TR ₂	シリコントランジスタ	
	2SC829	"	9	80	130	TR _{3,4,7,8,9,10,20,21}	シリコントランジスタ	
	2SC1359	"		50	80	TR ₅	"	
	2SA564	"		110	180	TR ₆		
	2SC945	"	3	40	60	TR _{12,14,15}	シリコントランジスタ	
	2SC828	"	2	80	130	TR _{13,25}	"	
	2SC1226A	"	2	140	240	TR _{16,17}	"	新
	2SC478	"		440	600	TR ₁₈	"	
	2SC696	"		340	570	TR ₂₃	"	新
	2SC1306	"		650	930	TR ₂₄	"	新
	2SD261	"		80	120	TR ₁₄		
	AN210	I C		350	500	IC ₁	集積回路	RF-848
	OA90	ダイオード	6	75	100	D _{1,2,3,6,9,15}		
	RVDSC-15	"		95	135	D ₂		
	1S953	"		200	290	D ₄		新
	2-OA90	"	4	150	200	D _{11,12,5,6}		新
	RVDS-1Y	"		140	200	D ₁₀		
	RVDMZ206	"		80	120	D ₁₃		新
	RVD10DC1R	整流器		90	130	D ₁₁		
	RRT171	サーミスタ		25	40	Th ₁		
	RRT251	"		25	40	Th ₂		
	RVCX21000N4T	水晶発振子		450	640	X ₁		新
	RVCX29000N4Z	"		450	640	X ₂		新
	RVCX21455N4R	"		450	640	X ₃		新
	EXAF203Z471	カッププレート		40	60	M ₁		
	EAE1TB	イヤホン		80	120	EP		



■ 包装要領



品 番	部 品 名
RPH164A	ソフトカバー
RPC9011A	パッキングケース完成
(RPC903A パッキング RPN1261A パッド)	パッキングケース完成 でご注文下さい。
RPN1262A	パッド
FBRJX601N	説明書、プライスカード、保証書

